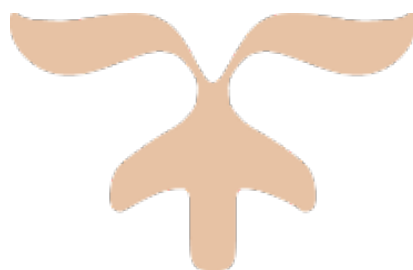


令和7年度**前期** 高大連携授業

授業計画書

科目概要



大学コンソーシアムあきた

目 次

〔1〕 英語の楽しさ再発見（秋田大学）	1
〔2〕 世界史再読：ジャンヌ・ダルクと平和（秋田大学）	2
〔3〕 国際系人文科学入門（秋田大学）	3
〔4〕 作業療法の魅力（秋田大学）	4
〔5〕 分子生物学とバイオ創薬（秋田大学）	5
〔6〕 身近な有機化学・有機化合物（秋田大学）	6
〔7〕 高校生のための応用化学（秋田大学）	7
〔8〕 未来を担う素材とエレクトロニクス～“機能デバイス物理”とは？（秋田大学）	8
〔9〕 数学の謎と魅力（秋田大学）	9
〔10〕 Python によるデータ可視化（秋田大学）	10
〔11〕 再生可能エネルギー入門（秋田大学）	11
〔12〕 文系のための情報データ科学（秋田大学）	12
〔13〕 理系のための情報データ科学Ⅰ（秋田大学）	13
〔14〕 理系のための情報データ科学Ⅱ（秋田大学）	14
〔15〕 マーケティングとブランディング（秋田大学）	15
〔16〕 データサイエンスによるマーケティング（秋田県立大学）	16
〔17〕 ドローンのメカニズム学習と飛行実習（秋田県立大学）	17
〔18〕 高校数学から大学への数学へ（秋田県立大学）	18
〔19〕 リスクで分かる判断と違いの心理（秋田県立大学）	19
〔20〕 ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅（秋田県立大学）	20

〔21〕 コンピュータを使った問題解決（秋田県立大学）	21
〔22〕 英語ニュースでリスニング力を鍛えよう！（秋田県立大学）	22
〔23〕 もっと知りたいアキタの環境！（秋田県立大学）	23
〔24〕 基礎心理学を体験しよう（秋田県立大学）	24
〔25〕 バイオテクノロジーへの招待（秋田県立大学）	25
〔26〕 おもしろ生物学 ここだけのはなし（秋田県立大学）	26
〔27〕 高校生のためのアグリビジネス入門（秋田県立大学）	27
〔28〕 植物アグリサイエンスのいま！（秋田県立大学）	28
〔29〕 国際教養学への招待（国際教養大学）	29
〔30〕 初めての染色体験（秋田公立美術大学）	30
〔31〕 自然から芸術を学ぶ（秋田公立美術大学）	31
〔32〕 アナログ漫画画材でオリジナルキャラクターを描こう（秋田公立美術大学）	32
〔33〕 生存の技術から創造行為へ（秋田公立美術大学）	33
〔34〕 グラフィックレコーディング演習（秋田公立美術大学）	34
〔35〕 建築デザインを学び、実際に見て歩こう（秋田公立美術大学）	35
〔36〕 古来の技法で絵を描いてみよう（秋田公立美術大学）	36
〔37〕 地域資源デザインワークショップ（秋田公立美術大学）	37
〔38〕 医療と福祉の探究（秋田看護福祉大学）	38
〔39〕 ようこそ、看護学の世界へ（秋田看護福祉大学）	39
〔40〕 高校生のための看護学入門（日本赤十字東北看護大学）	40

〔41〕 食生活と健康（秋田栄養短期大学）	41
〔42〕 ようこそ保育の道へ（聖霊女子短期大学）	42
〔43〕 食品と栄養の基礎知識（聖霊女子短期大学）	43
〔44〕 快適な住環境整備と生活支援（日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部）	44
〔45〕 楽しく学べる保育科入門（聖園学園短期大学）	45
〔46〕 3D モデルを組立てよう！（秋田職業能力開発短期大学校）	46
〔47〕 ライントレースカー制御プログラム制作（秋田職業能力開発短期大学校）	47
〔48〕 住宅のバリアフリー改修プランニング（秋田職業能力開発短期大学校）	48

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[1] 英語の楽しさ再発見 (英語を様々な角度から研究する)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 准教授 若有 保彦 (計4名)
授業概要	大学の英語学習では、英語力を伸ばすだけでなく、英語を様々な角度から研究します。本講座では、英語という言葉の仕組みや英語の文化的背景、英語学習の効果的な方法を秋田大学の英語担当教員と一緒に考えていきます。		
授業方針	担当者の話を聞くだけでなく、視聴覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともあります。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でもかまいません。英語が苦手という人にとっても、新しい視点から英語を見直す機会になると期待します。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：24名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「絵本を素材とした異文化間コミュニケーション交流と第二言語習得」

教授 佐々木 雅子

＜6月4日(水)17:30～19:00＞

絵本を素材としたteachingとlearningについてご紹介します。皆さんも実際に絵本を使って英語学習を体験してみましよう。

第2講：「英語発達史」 准教授 エイドリアン・パターソン

＜6月11日(水)17:30～19:00＞

This class is about where English came from, how it spread to so many parts of the world, and how it changed along the way. By studying the history of English, you can get a better cultural understanding of English speaking peoples, and why there are so many different kinds of English now.

第3講：「知っておきたいアメリカ文学・文化入門」 講師 畠山 研

＜6月18日(水)17:30～19:00＞

英語がもっと楽しくなるアメリカ文学とアメリカ文化についてさまざまな内容をご紹介します。

第4講：「英語学習の目的と効果的な英語学習法」 准教授 若有 保彦

＜6月25日(水)17:30～19:00＞

英語学習の目的及び効果的な英語学習法について、他校の生徒との話し合いも交えながら一緒に考えていきます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[2] 世界史再読：ジャンヌ・ダルクと平和	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計1名)
授業概要	ジャンヌ・ダルクの名は高校世界史に登場し、その勇敢さ・戦い・信仰・処刑などでよく知られています。本授業ではそのイメージから離れて「平和」について、彼女がどのように考えていたかを考察します。		
授業方針	ジャンヌ・ダルクが生前または死後直後に残された記録や書簡を読みながら、歴史を暗記するのではなく、考える科目として授業を進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話：018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「中世ヨーロッパ世界と預言」

<6月7日(土)9:30~11:00>

ジャンヌ・ダルクは自らを預言者、すなわち神のメッセンジャーだとみなしていました。中世ヨーロッパ世界の特徴を学びながら、「預言者」が存在し、それが信じられた社会のあり方と彼らの役割を考えます。

第2講：「「イギリス人への手紙」を読む」

<6月7日(土)11:10~12:40>

「イギリス人への手紙」はジャンヌ・ダルクが口述して、書き留められたものです。そこでは、彼女の自分自身についての認識やフランス各地を占領するイングランド人に対する要求が記されています。ここで、信仰・戦闘・平和はどのような関係で語られているのでしょうか。

第3講：「戦闘自制と和平」

<6月7日(土)13:20~14:50>

ジャンヌ・ダルク登場の背景となった百年戦争では、戦闘よりも時間をかけて和平交渉が行われていました。その中で、ジャンヌは戦闘を望んだといわれていますが、基本的には剣や戦闘を好まないキリスト教信仰との関係はどうだったのでしょうか。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔3〕 国際系人文科学入門 (フランスを中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 辻野 稔哉 (計1名)
授業概要	本授業では、簡単なフランス語会話に触れることから始め、フランスを主な例として、人文科学の学びについて解説します。大学の授業の雰囲気を味わいながら、小説や映画、絵画といった広い人文科学の世界に最初の一步を踏み出しましょう。		
授業方針	毎回、プリントや資料を配付して授業を進めていきます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「フランス語をしゃべってみよう！」

＜6月11日(水)17:30~19:00＞

難しいことは後回し。とにかくフランス語を聞いて、まねて、喋ってみよう！英語と似ているようで、英語とはやっぱり違うフランス語に触れてみよう。

第2講：「人文科学を学ぼう！」

＜6月18日(水)17:30~19:00＞

大学ではどんなことが学べるのか、実際に聴講してみましよう。この講義では、小説などを題材に、国際文化系人文科学の学びを解説します。

第3講：「様々なフランスの文化に触れよう！」

＜6月25日(水)17:30~19:00＞

知っているようで、良く知らない国フランス。おしゃれなだけじゃないフランス文化のことをもっと学ぼう。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	〔4〕作業療法の魅力 (作業療法の世界を知ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	医学部 保健学科 助教 津軽谷 恵 (計6名)
授業概要	作業療法では、こころとからだの障害を持つ方だけではなく、健康な方の予防にも関わります。多岐にわたる仕事の内容や研究について、わかりやすく紹介します。		
授業方針	パワーポイントと配布資料により講義をします。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業 オンライン		
会場住所	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8:30～17:00） 電話：018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: megumi@hs.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「発達障害に対する作業療法の紹介」 講師 高橋 恵一 ＜6月4日(水)17:30～19:00＞ 発達障害をもつ子どもに対して遊びを通した治療について紹介します。			
第2講：「身体障害の作業療法」 助教 菊地 翼 ＜6月11日(水)17:30～19:00＞ 身体障害領域での作業療法士の実際についてお話しします。			
第3講：「こころのリハビリテーションってなんだろう」 准教授 富澤 涼子 ＜6月18日(水)17:30～19:00＞ 精神科作業療法の実際についてお話しします。			
第4講：「高齢者と作業療法」 准教授 浅野 朝秋 ＜6月25日(水)17:30～19:00＞ 介護保険施設および在宅で展開される作業療法について説明します。			
第5講：「日常生活活動の支援について」 助教 津軽谷 恵 ＜7月2日(水)17:30～19:00＞ 朝起きてから寝るまでの人の日常生活を、作業療法ではどのように支援するのかについてお話しします。			
第6講：「フレイル予防・認知症予防支援のための作業療法について」 教授 久米 裕 ＜7月9日(水)17:30～19:00＞ 秋田で行われているフレイル予防・認知症予防支援のための教育、研究と社会貢献に関する三位一体の取り組みについてお話しします。			
その他	なし		
テキスト	講義内容をまとめた資料を毎回配布します。		
参考文献	特になし		
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[5] 分子生物学とバイオ創薬	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 応用化学生物学科 教授 疋田 正喜 (計1名)
授業概要	高校の「生物基礎」「生物」で学修する分子生物学、免疫学の内容を基礎に、最新の分子生物学の知識とそれらを利用した抗体医薬品や各種サイトカイン製剤を含むバイオ医薬品について説明する。		
授業方針	講師が用意したパワーポイントの説明内容を理解する。毎回の授業の終わりに質問をする。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 1階		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: hikida@gipc.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：50名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「分子生物学とは？生物が生きる仕組み」

<6月7日(土)15:00~16:30>

分子生物学の考え方とタンパク質ができる仕組みを学ぶ

第2講：「免疫学とは？体を守る仕組み」

<6月14日(土)15:00~16:30>

高校で学習する内容を基本に免疫学の基礎について概説する

第3講：「体の仕組みを応用したバイオ創薬」

<6月21日(土)15:00~16:30>

通常の低分子医薬品とは異なるバイオ医薬品の基礎を学ぶ

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[6] 身近な有機化学・有機化合物	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 応用化学生物学科 教授 藤原 憲秀 (計1名)
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私達の生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かり易く解説します。		
授業方針	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急時連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: fjwkn@gipc.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「有機化合物のかたち」

<6月8日(日)10:30~12:00>

身近な有機化合物の「分子のかたち」に関わる話題を説明します。

第2講：「スパイスの色と香りと刺激の有機化合物」

<6月8日(日)12:50~14:20>

スパイスやハーブに含まれる有機化合物を紹介します。簡単な演示実験もあります。

第3講：「色調の変化する人工色素の有機化学」

<6月8日(日)14:30~16:00>

機能を持った人工色素について紹介します。簡単な演示実験もあります。

第4講：「健康と天然有機化合物」

<6月15日(日)12:50~14:20>

ヒトの健康に関わる天然由来の有機化合物の話題を紹介します。

第5講：「自然毒の有機化学」

<6月15日(日)14:30~16:00>

ヒトの健康に関わることの続きですが、食中毒に関わる毒素の話題を紹介します。

その他	
テキスト	講義の各回資料を配布します。
参考文献	配布資料に掲載します。
関連科目	化学基礎・化学 家庭(食品)

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[7] 高校生のための応用化学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 応用化学生物学科 教授 加藤 純雄 (計5名)
授業概要	応用化学は、化学の知識や研究成果を新しい物質や技術の開発に利用する学問であり、人間社会を豊かにする重要な役割を担っています。応用化学が社会のどのような場面で活躍しているのかを、先端的な研究例も取り上げて楽しく学びます。		
授業方針	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合環境理工学部4号館229講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：40名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「クリーンエネルギー」 教授 村上 賢治

＜7月12日(土)13:20~14:50＞

2050年にカーボンニュートラルを実現するためには、燃料の有するエネルギーを化学の力で上手く取り出す必要があることを解説します。

第2講：「身の回りで活躍する有機材料」 教授 寺境 光俊

＜7月12日(土)15:00~16:30＞

我々の日常生活では様々な有機材料が使われています。これら有機材料の特徴や機能について、分子レベルから解説します。

第3講：「化学の眼で見る液体燃料と環境側面 ～二酸化炭素とSDGs～」

准教授 小笠原 正剛

＜7月13日(日)9:30~11:00＞

秋田で産出される「石油」を起点として、液体燃料について概説します。また、炭素循環と二酸化炭素、SDGsとの関連を紹介します。

第4講：「ビーカーや試験管の中の化学反応はどのようにして実用化されるのか？」

准教授 高橋 博

＜7月13日(日)11:10~12:40＞

化学反応を利用して物質を生産する場合、どのようにして実用化されていくのでしょうか。高校の教科書には記載が少ない、化学の裾野の広さを知る良い機会となるでしょう。

第5講：「環境浄化に役立つ無機材料」 教授 加藤 純雄

＜7月13日(日)13:20~14:50＞

社会を豊かにする技術の発展とともに問題となる、大気や水の汚染を防止し、浄化に役立つ無機物質、技術を化学の視点から解説します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[8] 未来を担う素材とエレクトロニクス ～“機能デバイス物理”とは？	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 環境数物科学科 機能デバイス物理コース 教授 吉村 哲 (計4名)
授業概要	磁気や光や波に関する種々の高機能な素材・材料や高性能なエレクトロニクス(電子)素子(デバイス)を紹介すると共に、それらがもたらす近未来の世界にも言及します。		
授業方針	簡単な実験を含む講義を通じて、物理現象がどのように社会に応用されているかを体感してもらいながら、授業を進めます。		
会場・教室	第1講・第2講：秋田大学 手形キャンパス 総合環境理工学部3号館 319講義室 第3講・第4講：秋田大学 手形キャンパス 総合環境理工学部1号館 D130講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30～17:00) 電話：018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「物理法則と機能性材料は情報記録機器の性能を支配する！」 教授 吉村 哲
 <7月5日(土)9:30～11:00>

『電気と磁気』に関する物理法則と情報記録機器の動作原理との関係性について簡単な実験を行いながら概説するとともに、近年の新しい物理法則の発見と機能性材料の創製およびその特性改善が情報記録機器の高性能化に寄与してきた歴史と将来展望について述べます。

第2講：「機能性素材・材料の原子配列を調べてみよう！」 准教授 肖 英紀
 <7月5日(土)11:10～12:40>

現代社会を支えるエレクトロニクス(電子)素子(デバイス)は多種多様な素材・材料でできています。本講義では、原子の集合体としての観点から素材・材料を概観し、そのバラエティや原子配列を調べる技術を紹介します。

第3講：「医療にも応用！「超音波エレクトロニクス」」 講師 福田 誠
 <7月12日(土)9:30～11:00>

超音波の送受波には機能デバイスの1つである圧電振動子が使われています。本講義では、超音波エレクトロニクスの基礎を概説し、応用例として超音波による医療診断(エコー)や治療(HIFU)の技術について紹介します。

第4講：「光回線で使われる光ファイバーをセンサーとして使う！」 講師 細木 藍
 <7月12日(土)11:10～12:40>

インターネットの普及と共に、光ファイバーによる光回線は主流となりました。光ファイバーの中では、光が全反射を繰り返しています。本講義では、ウイルス検知や水素漏洩モニタリングなどを題材に、光ファイバーによるセンサーデバイスについて紹介します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[9] 数学の謎と魅力	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 環境数物科学科 教授 山村 明弘 (計4名)
授業概要	数理科学はデータサイエンスやAIなどの科学技術の基礎となっている一方でまだ解明されていない難問もたくさん残されています。数学の謎と我々の生活に密着している事例を紹介して数学の魅力に迫ります。		
授業方針	パワーポイントのスライドを用いた授業に加えて実験や実習を通して数学が我々の生活に役立っていることを感じる事ができる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟 1階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「身近なかたちとその利用」 准教授 小林 真人

<7月5日(土)11:10~12:40>

線を引きたり紙を組み立てて、トーラスやクラインの壺という図形を作り、観察します。このような図形が実は身近な存在で、異常気象の検知などに実社会でごく自然に使われそうだと感じましょう。

第2講：「身の回りの最大・最小問題と微積分」 助教 佐々木 英一

<7月5日(土)13:20~14:50>

近年のデータサイエンスの隆盛に最大最小問題の計算手法の発展が寄与しています。身の回りにある疑問から、最大最小問題と微積分学の密接なかかわりを体験しましょう。

第3講：「四色定理：グラフ理論の楽しさ」 准教授 FAZEKAS Szilard

<7月6日(日)11:10~12:40>

グラフの基本的な構成要素と性質を紹介し、平面グラフの彩色問題と有名な四色定理を通じて説明します。すべての地図は四色あれば隣の国と異なる色で塗り分けられることを確かめましょう。

第4講：「ふしぎな確率のパラドックス」 教授 山村 明弘

<7月6日(日)13:20~14:50>

確率・統計はデータサイエンスの基礎となります。ふしぎな確率のパラドックスと一緒に考えてみましょう。確率の考え方を身につけることで自然現象や社会現象を的確に捉えることができるようになります。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[10] Pythonによるデータ可視化 (データサイエンスで見る数理科学の世界)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 環境数物科学科 助教 橋爪 恵 (計2名)
授業概要	現代社会においてデータの把握は必要不可欠な技術です。データの分布や相関などを調べ理解する方法として、データの可視化・視覚化・グラフ化は重要な第1歩です。本講義ではPythonを用いて様々なデータの構造を考えます。		
授業方針	Pythonを用いた実習（実データの可視化・視覚化・グラフ化）を行い、データをどのように把握するとわかりやすいのかを体感できる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 情報データ科学部1号館102講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課（平日8：30～17：00） 電話：018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「データサイエンスって何ができるの？データってどんなのがあるの？」

助教 橋爪 恵、助教 Khaing Hsu Wai （全2講共通）

＜7月12日（土）9:30～11:00＞

データの種類とデータを可視化する必要性を紹介し、適切な幾何学を考えます。また、Pythonを導入し様々な図・模様を描いてみましょう。

第2講：「Pythonでデータの可視化に挑戦」

＜7月12日（土）11:10～12:40＞

一般公開されている実データから好きなデータを自分で可視化します。他の人にどんなデータなのか伝えるのに適切な図を描いてみよう。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[11] 再生可能エネルギー入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合環境理工学部 社会システム工学科 教授 熊谷 誠治 (計1名)
授業概要	エネルギーと環境に関する社会情勢と技術は、刻々と変化しています。本授業では、再生可能エネルギーに関する基礎知識を身に付けます。さらに、世界的動向から地元秋田での取り組みまで、最新情報を提供します。		
授業方針	パワーポイントとプリントを用いて授業を進めます。物理と化学の履修は必須ではありません。再生可能エネルギーに興味があれば十分に理解できる内容です。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合環境理工学部1号館D130教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.akita-u.ac.jp		
緊急時連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: kumagai@gipc.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「日本と世界のエネルギー情勢と再生可能エネルギーとは」

<8月9日(土)13:00~14:30>

日本および世界のエネルギー情勢、再生可能エネルギーの種類や特徴について学びます。さらに、個別の再生可能エネルギーの原理や特性について学びます。洋上風力発電や秋田に豊富に存在する地熱について説明します。

第2講：「蓄電技術、バイオマスの利用とカーボンニュートラル」

<8月9日(土)14:40~16:10>

再生可能エネルギーの有効利用と助けるリチウムイオン電池などの蓄電技術を説明します。また、バイオマスとその特徴であるカーボンニュートラルについて学びます。秋田での取り組みについても紹介します。

その他	
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配ります。
参考文献	
関連科目	物理, 物理基礎, 化学, 化学基礎

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[12] 文系のための情報データ科学 (ヒトの暮らしとデータサイエンス)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報データ科学部 情報データ科学科 教授 臼木 智昭 (計3名)
授業概要	これからのヒトを中心とした社会の実現には、様々なデジタル技術を活用することが必要となります。この講座では、経済学、観光学、経営学でのデータ利用の可能性と地域社会との関わりを学びます。		
授業方針	スライドと配布プリントにより講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 情報データ科学部2号館106教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 40名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「地域データの真実を知るために (根拠のない情報に騙されない) 」 講師 熊丸 博隆 <u><7月6日(日)11:10~12:40></u> 現代では、国、都道府県、市町村単位で様々なデータが氾濫している一方で、データ同士には繋がりがありません。データの関係やデータ分析を考えるために、具体例を通して「因果関係」と「相関関係」の違いに言及します。</p> <p>第2講: 「観光とデータ分析」 准教授 高橋 環太郎 <u><7月6日(日)13:20~14:50></u> 観光の研究を行う際、調査手法として様々なものがあります。データ分析もその一つです。本講義では観光で扱われる統計資料やデータ分析の手法を紹介していきます。</p> <p>第3講: 「情報ビジネスと地域社会」 教授 臼木 智昭 <u><7月6日(日)15:00~16:30></u> 地方が抱える様々な課題を解決するためには、ICT (情報通信技術) やデジタル技術の積極的な活用が求められています。具体的な事例を交えながら、情報ビジネスの展望や地域活性化との関係を紹介します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[13] 理系のための情報データ科学I (AI・空間コンピューティングからロボティクスまで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報データ科学部 情報データ科学科 教授 水戸部 一孝 (計4名)
授業概要	人を幸福にするデジタル社会の実現には、人や技術に対する深い理解が必要です。AI, XR, ロボティクス等, 情報データ科学の最新技術を紹介しながら, 秋田県での暮らしをより良くするための手段を一緒に考えましょう。		
授業方針	スライドと配布プリントにより講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 情報データ科学部2号館101教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 60名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「高齢者の交通事故防止と空間コンピューティング」 教授 水戸部 一孝 <u><7月6日(日)9:30~11:00></u> なぜ, 高齢者の交通事故は多いのでしょうか? 本講義では, ヒトがサイバー空間で3次的に行動できる空間コンピューティング技術により高齢者の行動をデジタル化し, 高齢者の交通事故の特徴をDSで顕在化する研究について紹介します。</p> <p>第2講: 「AIの利活用とこれからのデジタル社会」 教授 景山 陽一 <u><7月6日(日)11:10~12:40></u> AIなどのデジタル技術の利活用が急速に進んでいます。デジタル社会の中で, 私たちは質の高いつながりを創り出すことが重要です。本講座では, AIの歴史や利活用の現状, デジタル社会を構築するためのこれからの取り組みについて紹介します。</p> <p>第3講: 「デジタルイノベーションが拓く持続可能な地域観光と生涯学習」 教授 有川 正俊 <u><7月6日(日)13:20~14:50></u> 本授業では, 位置情報サービス, 生成AI, データストーリーテリング, デジタル地誌学, データ駆動型エコシステムを活用し, 地域課題の解決に取り組みます。また, 地域貢献とシビックプライドの醸成をめざし, 学生の皆さんとともにデジタルイノベーションの視点から地域観光と生涯学習の未来を再定義していきます。</p> <p>第4講: 「デジタル社会を支えるロボティクス」 教授 長縄 明大 <u><7月6日(日)15:00~16:30></u> 情報技術を活用したデジタル社会の構築が進められていますが, 少子高齢化の時代においては, 人間を支援する, あるいは, 人間の代わりに作業を行うことができるロボットが必要とされます。本講座では, ロボットが活用されている場面やその技術について紹介します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[14] 理系のための情報データ科学II (AI・空間コンピューティングからロボティクスまで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報データ科学部 情報データ科学科 教授 水戸部 一孝 (計4名)
授業概要	人を幸福にするデジタル社会の実現には、人や技術に対する深い理解が必要です。AI, XR, ロボティクス等, 情報データ科学の最新技術を紹介しながら, 秋田県での暮らしをより良くするための手段を一緒に考えましょう。		
授業方針	スライドと配布プリントにより講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 情報データ科学部2号館101教室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jim.u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 60名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「デジタル社会を支えるソフトウェア技術」 教授 藤原 克哉 <7月12日(土)9:30~11:00> DXの推進やAIの活用からプログラミング教育の必修化まで, コンピュータとソフトウェアが実現する新しい社会のあり方に注目が集まっています。デジタル社会を支えるソフトウェア・IoT技術を紹介します。			
第2講: 「人の運動機能とロボティクス」 教授 巖見 武裕 <7月12日(土)11:10~12:40> 本講座では, 神経回路のつながりや信号の流れ, 筋骨格系の基本的な運動機構を説明し, 人が神経回路によってコントロールされる運動システムであることを理解します。そして, 脳卒中後遺症の回復訓練に用いるロボティクスや新しい運動装置の開発について紹介します。			
第3講: 「データを活用した未来の地震防災」 教授 水田 敏彦 <7月12日(土)13:20~14:50> 地震が多く人口減少も進むわが国では, 防災・減災に向けて様々なアプローチが検討されていますが, その一つとしてデータの活用があります。本授業では, 事前の地震発生予測, 被害予測, 発生後の被害状況把握について, 地震防災に役立てるための多種多様なデータの活用方法を紹介します。			
第4講: 「目は口ほどにものを言うー視線の測り方と応用ー」 教授 石沢 千佳子 <7月12日(土)15:00~16:30> 視線計測器を用いると, 「人が何処を見ているのか」を知ることができます。視線計測はこれまで, 心理学の実験や, マーケティング, 視線によるコンピュータ操作など, ある特定の目的で決まった使い方をすることが殆どでした。本講座では, 視線計測の原理を紹介し, 私たちの暮らしをより便利にするための活用方法について, みなさんと一緒に考えます。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[15] マーケティングとブランディング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	未来研究統括機構 准教授 伊藤 慎一 (計3名)
授業概要	世の中には取引可能な財やサービスが数多くあり、私たちはこの中から選好して消費します。消費者が購買する理由を人為的に作り出すことがマーケティングとブランディングです。本授業ではその意味と具体例を学びます。		
授業方針	座学と実習で進行します。前半は、マーケティングとブランディングの理解に必要な知識習得として理論や学説学派、産業財産権等を概説し、後半はゲーミングの技法を用いて、教室内に仮想市場を構成し実際に流通を体験します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 地方創生センター1号館 213会議室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	秋田大学 総合学務課 (平日8:30~17:00) 電話: 018-889-3192 E-mail: kyomusom@jimu.akita-u.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 16名】先着順で募集を締め切ります

第1講: 「基礎マーケティング論」

准教授 伊藤 慎一、客員教授 北村 森、客員教授 酒井 俊之 (全6講共通)

＜8月23日(土)9:30~11:00＞

そもそもマーケティング学とは何を学ぶ学問なのかについて、その歴史的背景、意義、学説や学派、位置づけ等を概説する。これにより私たちの消費行動と商品選択がマーケティング活動とどう関係し合っているのかを理解する。

第2講: 「近代ブランディングと知的財産権」 ＜8月23日(土)11:10~12:40＞

ブランドは消費者の選択に大きな影響を与える指標の一つである。企業はブランドを大切に、顧客と共に成長する。消費者に新たな価値を届けるためには、適切な権利管理が重要である。ブランドの価値を知的財産の観点から概説する。

第3講: 「近代マーケティングがめざす価値の創造」 ＜8月23日(土)13:20~14:50＞

マーケティングは近年めざましい進化を遂げており、消費者選好やブランディング戦略は既存の枠組みのとらわれない新時代に突入している。このような中近代マーケティングがめざす「価値の創造」とは何か、その意義について概説する。

第4講: 「ゲーミングの技法を用いたマーケティングシミュレーション1」

＜8月24日(日)9:30~11:00＞

近年マーケティング学では現実の市場シミュレーションを再現する手法として実験経済学をベースとし、人為的な取り決めで市場を作り出すゲーミングという研究が進められている。この意義と役割体験の手法を用いて取引とブランドについて説明する。

第5講: 「ゲーミングの技法を用いたマーケティングシミュレーション2」

＜8月24日(日)11:10~12:40＞

ゲーミングの技法を用いて教室内に仮想市場を形成し参加者全員でマーケティング・ブランディングを考える取引シミュレーションを行う。市場の変化や消費者の選考、ブランド戦略の重要性を説明する。

第6講: 「マーケティングとブランディング」 ＜8月24日(日)13:20~14:50＞

ゲーミングシミュレーションの結果を総括して、マーケティングとブランディングについて再度議論の整理を行う。秋田におけるマーケティングや地方創生などについても論考し、市場の概念と意味を理解する。

その他	
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配布します
参考文献	授業の中で紹介します
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[16] データサイエンスによるマーケティング (まちづくりを題材に高校生の声を集めてみよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計2名)
授業概要	マーケティングにおける調査手法「商品企画七つ道具」を活用して、高校生が地域に求めるアイテムの探索を通じてアンケートを設計、実施、解析を実践します。		
授業方針	高校配布のパソコンChromeを活用して、Google Formsでアンケートを採取する方法とGoogle Spreadsheetで解析する方法を実践的に学びます。		
会場・教室	中通サテライト (カレッジプラザ)		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「まちづくりの意義と商品企画七つ道具を学習しよう」

経営システム工学科 教授 嶋崎真仁、建築環境システム学科 助教 竹内仁哉 (全4講共通)

<7月13日(日)13:20~14:50>

この授業で使用するマーケティング手法「商品企画七つ道具」を紹介します。

第2講：「グループインタビューからアンケート作成」

<7月13日(日)15:00~16:30>

高校生が地域に必要と考えるアイテムを挙げてアンケートを作ります。

第3講：「アンケートを解析してみよう」

<7月27日(日)13:20~14:50>

表計算ソフトを用いてアンケートの簡単な解析法を学びます

第4講：「提言のプレゼンテーション」

<7月27日(日)15:00~16:30>

当日集まった関係者に結果をプレゼンしてアドバイスをもらいます。

その他	学校で配布されたパソコンがあれば持参してください。
テキスト	特になし
参考文献	神田範明:神田教授の商品企画ゼミナール,日科技連,2013.
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[17] ドローンのメカニズム学習と飛行実習	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計5名)
授業概要	ドローンの組み立てを通じて、ドローンの飛行原理を理解するとともにドローンの可能性について学習する。組み立てたドローンは持ち帰ることができる。		
授業方針	座学だけでなく、実際に組み立てたり競技を通じて使い方に慣れることで、ドローンを原理から実践的に学習する。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：24名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「ドローンの可能性」 知能メカトロニクス学科 助教 長南 安紀
<8月1日(金)13:30~14:20>
 ドローンを作り、飛ばす技術を持つことで広がる可能性を知る。

第2講：「ドローンはこう動いている」 機械工学科 准教授 境 英一
<8月1日(金)14:30~15:20>
 ドローンの構成と飛行原理を理解することで、ドローンの基本的知識を学ぶ。

第3講：「ドローンをつくってみよう」 情報工学科 准教授 寺田 裕樹
<8月1日(金)15:30~16:20>
 自作用のドローンキットを組み立てることを通じて、第2講で学んだ内容を深める。

第4講：「ドローンを飛ばすために知っておくべきこと」
 生物資源科学部 アグリビジネス学科 准教授 永吉 武志
<8月2日(土)13:20~14:50>
 ドローンを現実に飛ばすために知っておくべき知識を理解する。

第5講：「ドローン競技会」 建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉
<8月2日(土)15:00~16:30>
 トイドローンを操って「ドッグファイト」を体験する。

その他	制服が汚れないようにエプロンなど。飛行時に髪の毛に絡むので帽子が必要。
テキスト	特になし
参考文献	特になし
関連科目	特になし

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[18] 高校数学から大学への数学へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 木村 寛 (計1名)
授業概要	「大学で学ぶ数学とはどのような数学なのだろうか？」高校数学のその先にある、より専門的な数学に触れてみませんか。高校数学のより深い理解にも繋がります。高校生でもわかるように分かり易く解説します。		
授業方針	高校1年生からの受講が可能です。数学が得意・不得意に関わらず、数学に興味や関心を持っている人大歓迎です。また社会への数学の活用法に興味がある人も大歓迎です。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「大学数学の基礎（解析学・線形代数学）」

＜6月7日(土)9:30～11:00＞

新たな数学の世界の広がりを感じられると思います。n次元空間や、実数、ベクトルなど、一般の数学を学ぶうえで基本的となる概念を解説します。

第2講：「データサイエンス基礎（数理統計学）」

＜6月7日(土)11:10～12:40＞

数理統計学はデータサイエンスを学習する上で重要となる数学分野です。数理統計学の基本的な内容について解説します。

第3講：「応用数学（数理最適化・ゲーム理論）」

＜6月7日(土)13:20～14:50＞

最適な経路の求め方や、自分の利益を最大にする戦略の取り方などを考えるゲームの均衡解など、現実問題を解決する数学について解説します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[19] リスクで分かる判断と違いの心理 (医療・生活・科学技術・政策すべてに役立つリスクリテラシー)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 金澤 伸浩 (計1名)
授業概要	リスクを確率論的に考えると、何がどれくらい危ないかが整理でき、行動の判断や他人の価値観の理解につながります。リスクの特性やリスクに対する感覚の違いの元になる心理の特性についても学びます。		
授業方針	参加型で気づきを通して学んでいく授業です。グループワークを通してリスクの性質や使い方を楽しく学びます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：24名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「リスクとは何か」

<8月1日(金)13:20~14:50>

様々な意味で使われるリスクという言葉を確認することで、危ないものに対する判断や他人の価値観が分かることを学んでいきます。科学技術や社会の今後を考える基礎にもなります。

第2講：「リスク認知のバイアス」

<8月1日(金)15:00~16:30>

リスクの大きさは直感的に捉えがちです。ヒューリスティクスなど心理学的要因により、リスクの受け止め方に違いが出てしまう現象を体感しながら学びます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[20] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方針	令和6年度以前の内容を、若干アップデートしたものになります。昨年度及び一昨年度受講した方はご注意ください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「歴史あるミュージアム建築の魅力-伝統的な空間の改修と活用」			
<p><6月14日(土)13:20~14:50></p> <p>ルーブル美術館 (フランス, パリ), ウフィッツィ美術館 (イタリア, ミラノ), アムステルダム国立美術館 (オランダアムステルダム), シュテーデル美術館 (ドイツ, フランクフルト) を題材に, 建築の特徴と, 改修や増築の際の建築家の提案について解説します。</p>			
第2講: 「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索-ホワイトキューブを超えて」			
<p><6月14日(土)15:00~16:30></p> <p>単に白い箱 (ホワイトキューブといいます) をつくれば便利でよいのか? 光や風景との対話, あえて彫刻作品のようにした建築など, 作品と向き合うだけではない, 視覚体験や展示方法を模索した (させる) 建築を中心に, 解説を行います。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[21] コンピュータを使った問題解決 (プログラミング, バーチャルリアリティ, 音響, ロボット制御)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 寺田 裕樹 (計3名)
授業概要	私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的思考方や様々な技術の活用方法を学びます。		
授業方針	講義形式で授業を実施しますが、適宜、実演を交えて授業します。		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス 教室未定		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「バーチャルな世界を創る」 准教授 寺田 裕樹 <u><6月4日(水)17:30~19:00></u> コンピュータを使って現実と同じような世界を体験します。</p> <p>第2講: 「音の仕組み, 音を作る(創る)には」 准教授 渡邊 貫治 <u><6月11日(水)17:30~19:00></u> 音の物理的な側面, 感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です</p> <p>第3講: 「タブレット端末を使ったロボット制御」 教授 松下 慎也 <u><6月18日(水)17:30~19:00></u> タブレット端末を使って「LEGO MINDSTORMS」と呼ばれるロボットの動きを制御します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[22] 英語ニュースでリスニング力を鍛えよう！ (移民について考える (海外・日本・秋田の様子を含めて))	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 准教授 坂本 美恵子 (計1名)
授業概要	移民をテーマにした英語ニュース(主にCNN)を教材とし、リスニング力を鍛える。併せて日本、秋田県で生活する外国人に目を向け、関連した情報を提供する。		
授業方針	英語ニュースに触れる体験的な内容である。事前に資料等の配布はなく、予習の必要はない。授業中に質問し指名すること、ペア・グループワークを指示することがある。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業 各自ZOOMで参加		
会場住所	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし(ご自宅等で受講してください)。		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話:0184-27-2100 E-mail: sys_nyushi@akita-pu.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: m.saka2024@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数:15名】先着順で募集を締め切ります

第1講:「Migrant Crisis 1」

<8月23日(土)13:20~14:50>

ニューヨークにおける移民の流入に関するニュースを視聴し、現地の様子から移民受け入れの現状と課題について学ぶ。

第2講:「Migrant Crisis 2」

<8月23日(土)15:00~16:30>

ニュースの概要把握に加えて、日本や秋田県に住む外国人についても理解を深める。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[23] もっと知りたいアキタの環境！ (～空！土壌！川！湖！～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物環境科学科 教授 石川 祐一 (計4名)
授業概要	アキタの身近な自然環境をもっと知りたくないですか？大気から湖沼までアキタの環境を、それぞれの専門分野から様々な視点で切り取り解説します。明日から周囲の見え方が変わるかも・・・。		
授業方針	基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス E125		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00～17:00) 電話：018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講：「秋田の身近な気象と温室効果ガスに関する話」 准教授 井上 誠			
＜6月21日(土)9:30～11:00＞			
秋田県で特徴的にみられる降雪や強風などの大気現象について学習します。さらに、地球温暖化の現状を解説し、温室効果ガス観測に関する最新の動向を紹介します。			
第2講：「秋田の土壌と環境保全型農業」 准教授 高階 史章			
＜6月21日(土)11:10～12:40＞			
農業県・秋田の作物生産を支える土壌について解説します。その上で、農業と環境の関係を踏まえ、現在開発が進められている環境保全型農業について実例を紹介します。			
第3講：「森川海のつながりを栄養塩循環の観点から考えてみよう！」 助教 田代 悠人			
＜6月21日(土)13:20～14:50＞			
森や水田から流れ出る栄養塩は、川を通じて海に届き、プランクトンを育てます。でも、栄養塩が多すぎると、赤潮などの問題が起こることも。本講義では、秋田県や都市の川を例に、森・川・海のつながりを考えてみましょう！			
第4講：「もっと知りたい八郎湖ー世界規模の環境問題、アオコについてー」			
准教授 岡野 邦宏			
＜6月21日(土)15:00～16:30＞			
世界108カ国でアオコの発生が記録され、そのうち79カ国でアオコが産生する毒素が問題となっている。八郎湖で大きな問題となっているアオコとは何か？その対策も含めて解説します。			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[24] 基礎心理学を体験しよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 助教 村松 明穂 (計1名)
授業概要	心理学とは、ヒトとヒト以外の動物の「こころ」の働きと行動について、文理にまたがった視点から総合的に理解しようとする学問です。臨床心理学などの「応用心理学」の基盤である「基礎心理学」について、体験的に学んでみましょう。		
授業方針	心理学のなかに様々な分野があることを踏まえた上で、特に基礎心理学的な知識について、心理学を専攻する大学生が行うような実験等を通じ、体験的に学ぶ。(令和6年度前期開講授業と同内容)		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「心理学とは？」

＜6月26日(木)17:30~19:00＞

心理学にはどのような分野があるのか学ぶ

第2講：「錯視を体験する」

＜7月3日(木)17:30~19:00＞

知覚心理学の基礎知識について学ぶ

第3講：「記憶のメカニズムやデザインの仕組みを体験する」

＜7月10日(木)17:30~19:00＞

学習心理学や認知心理学の基礎知識について学ぶ

第4講：「ペットのしつけに使われている方法を体験する」

＜7月17日(木)17:30~19:00＞

行動分析学の基礎知識について学ぶ

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[25] バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 教授 村田 純 (計6名)
授業概要	高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになって行くのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。		
授業方針	授業はオムニバス形式で行います。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス E126		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「動物・植物・微生物および食品素材の機能解析」 教授 村田 純

<7月5日(土)13:20~14:50>

本学科で取り組んでいる生命現象の解明と生物資源の利用について、概略を紹介します。

第2講: 「植物ホルモンと植物の成長制御について」 准教授 王 敬銘

<7月5日(土)15:00~16:30>

植物ホルモンの生物機能を解説し、ブラシノステロイド生合成阻害剤の研究とエチレンアゴニストの研究を紹介します。

第3講: 「食品加工における塩の役割ーおいしさを保持したまま減塩するためにはー」

教授 石川 匡子

<7月12日(土)13:20~14:50>

食品加工において塩は欠かすことのできない調味料ですが、塩の過剰摂取は生活習慣病の一因とされ減塩が推奨されています。美味しさを損ねることなく減塩するにはどうしたらいいか、研究例を紹介します。

第4講: 「アミノ酸の常識を覆す!? D-アミノ酸のバイオケミストリー」

助教 牟田口 祐太

<7月12日(土)15:00~16:30>

生活の中でよく目にする“アミノ酸”ですが、実はL型、D型と呼ばれるタイプがある事をご存知でしょうか? 200年以上に及ぶアミノ酸研究の常識を覆す“D-アミノ酸”研究の魅力と最新研究の情報をご紹介します。

第5講: 「脱炭素社会に向けたバイオテクノロジー」 准教授 尾崎 紀昭

<7月26日(土)13:20~14:50>

地球に優しい「バイオミネラルリゼーション」の基礎と応用について、最新的话题を提供します。

第6講: 「ヒトの疾病と免疫の関わりについて」 准教授 岩下 淳

<7月26日(土)15:00~16:30>

免疫の働きについて概説し、ヒトの疾病と免疫に関係した研究を紹介します。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[26] おもしろ生物学 ここだけのはなし (～生き物の不思議を科学する～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 准教授 永澤 信洋 (計3名)
授業概要	大学では机上の勉強だけでなく、研究を通じて新しい発見をすることができます。この授業では、教科書には詳しく書かれていない生物学のおもしろい話題について、県立大学教員の研究なども交えて紹介します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。生物学に興味がある生徒はもちろん、そうでない生徒の受講も歓迎します。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟A211		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00～17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「細胞の中でおこる不思議な現象」 准教授 上田 健治 <u><7月13日(日)9:30～11:00></u> 性染色体やオートファジーの役割について紹介します。			
第2講: 「生き物の形を作る遺伝子の話」 准教授 永澤 信洋 <u><7月13日(日)11:10～12:40></u> 生き物、特に植物の形態(ボディプラン)を決める遺伝子がどのようにして発見されてきたか?主に花の発生について紹介します。			
第3講: 「いきものの進化のしくみ」 准教授 佐藤(永澤) 奈美子 <u><7月13日(日)13:20～14:50></u> 進化のしくみについては、どんなことがわかってきているのか?現在進行中の研究を交えながら、お話ししたいと思います。			
その他	昼食をご持参ください。第3講終了後、希望者は学内見学可能です。		
テキスト	プリントを配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物学		

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[27] 高校生のためのアグリビジネス入門 (今こそ農業の未来を考えよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 教授 上田 賢悦 (計4名)
授業概要	我々の食卓を支えるこれまでの「農業」、今も変化し続けるこれからの「農業」について、農業経営学、アグリロボティクス、アニマルテクノロジー、作物学の視点から解き明かし、未来の農業を皆さんと考えます。		
授業方針	秋田の農業から世界の農業まで、具体的な事例や今日的な話題を多く用いながら、身近なことから専門的なことまで、わかりやすく解説します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「スマート農業がもたらす新しい農業と農村の姿」 教授 上田 賢悦 <u><8月2日(土)9:30~11:00></u> 農業の未来は農家が考えればいいのか？僕は私は農家にならないから考えなくてもいい？日本の農業はいま、農業人口の減少、高齢化が進み深刻な状況にあると言われています。農業の未来を「スマート農業」という視点から考えます。			
第2講: 「小説「下町ロケット」の続き？」 准教授 山本 聡史 <u><8月2日(土)11:10~12:40></u> 池井戸潤氏の大ヒット小説「下町ロケット」は、宇宙工学、医療、農業をテーマにした三部作ですが、農業シリーズ「ヤタガラス」の続きを知りたくないですか？授業では、農業ロボットの基礎、国内外の事例、将来展望について講義し、下町ロケットの続きを受講者と一緒に考えます。			
第3講: 「地域資源を活用した環境にやさしい畜産をめざして-日本短角牛を活用した循環型畜産への挑戦-」 准教授 横尾 正樹 <u><8月2日(土)13:20~14:50></u> 本講では、我々に乳、肉、卵などの畜産物を提供してくれる「家畜」という動物について改めて考えた上で、今日の畜産物の安定供給を支えている「アニマルテクノロジー」を紹介します。さらに、日本畜産の現状、特徴を概観した上で、現在、アグリビジネス学科「家畜資源利用促進プロジェクト」が進めている、秋田県の畜産が元気になる(であろう)取り組みについても紹介したいと思います。			
第4講: 「環境と調和した農作物生産」 教授 露崎 浩 <u><8月2日(土)15:00~16:30></u> 近年、農作物(イネ、ダイズ等)の生産において、環境と調和した農法の開発が進展しています。本講では、「緑肥作物を用いた減化学肥料生産」や「ドジョウによる雑草防除」といった研究事例を通じ、環境と調和した持続可能な農作物生産のあり方について、一緒に考えます。			
その他	昼食ご持参が便利です		
テキスト	講義内容をまとめたテキストを配布します		
参考文献	授業の中で紹介します		
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[28] 植物アグリサイエンスのいま！ (植物を科学する。農業を科学する。未来を科学する。)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 教授 櫻井 健二 (計4名)
授業概要	ヒトの営みに欠くことができない「食」、その「食」を支える農業、農業を科学する植物アグリサイエンスを深掘り。植物そのモノや植物由来のモノ、これらの新しいモノやモノづくりの技術の「いま」を現物に触れたり、実験しながら紹介します。そして、その未来を語りましょう。		
授業方針	生物生産科学科の教員によるオムニバス形式の講義です。各授業終了後に、簡単な授業の感想レポートを書いて頂きます。植物を対象とする生物学、植物に関連する仕事や産業、「食」だけではなく、「健康」や「美容」分野、農業に関心を持つ高校生の受講を期待しています。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 学生実験室 F127		
会場住所	秋田市下新城野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「植物や地衣類が産生する有用物質ー抗酸化ー」 助教 川上 寛子 <u><8月7日(木)9:30~11:00></u> 人は日頃から健康や美容のために、「有用物質」を利用しています。その中でも天然に数多く存在し、様々な医薬品や化粧品、食品に用いられる「抗酸化物質」について紹介し、皆さんが日頃目にする生物の見方が少し変わるようなお話をしたいと思います。			
第2講: 「植物由来エキスに含まれる抗酸化物質を分析してみよう！」 助教 川上 寛子 <u><8月7日(木)11:10~12:40></u> 実際に抗酸化物質を分析し、その体験を通して、第1講で学んだ内容をより深めていきます。大学の実験実習や卒業研究でも使用する身近な実験機器を使用し、研究の一端を体験してみましよう。			
第3講: 「これからの新しい野菜の栽培方法の話をしよう！！」 教授 小川 敦史 <u><8月7日(木)13:20~14:50></u> 安全・安心で身体にいい農産物(高付加価値)を栽培するためには大きく分けて、「栽培学的手法」「育種学的手法」の二つがあります。この講義では人工的に栽培環境を調整して栄養成分を高めたり、食事制限のある人でも食べるようにできるようにしたりした野菜の栽培方法を紹介します。			
第4講: 「レアプラントハンターによる「あきた伝統野菜」の発掘」 教授 櫻井 健二 <u><8月8日(金)9:30~11:00></u> 希少な植物である「あきた伝統野菜」(レアプラント)を探索し、それらに新しい価値を付与する活動は「レアプラントハンター」と呼ぶことができます。その「レアプラントハンター」の発掘活動を紹介します。			
第5講: 「植物アグリサイエンスで変わる魅力ある農業」 教授 藤 晋一 <u><8月8日(金)11:10~12:40></u> 植物を科学することで、その機能を巧みに利用した高機能作物の生産や物質(モノ)づくりが実現してきています。ここでは、これからの農業を魅力あるものにする植物アグリサイエンスを紹介します。			
その他	昼食は学内の売店やカフェテリア(食堂)が利用できます。高校の引率教諭や保護者の方でも興味がある方は同席いただけます。その場合は事前にお知らせください。		
テキスト	授業ごとに資料を配付します。		
参考文献			
関連科目	生物学、農学、農芸化学		

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	国際教養大学
科目名 (サブタイトル)	[29] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 助教 マーク デイボア (Mark De BOER) (計3名)
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。		
授業方針	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	国際教養大学 入試室 (平日9:00~17:00) 電話: 018-886-5931 (入試室直通) E-mail: admissionoffice@gl.iau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「Understanding Perspectives」 助教 マーク デイボア (Mark De BOER) <u><6月7日(土)11:10~12:40></u> We will read and evaluate a famous children's story from the perspective of the main character and then take the perspective of another character and see how this view will change your understanding of the story and of the characters.			
第2講: 「Marketing and Innovation」 助教 スンキュー・リー (Sungkyu LEE) <u><6月7日(土)13:20~14:50></u> This lecture will expose participants to the opportunities of high-tech marketing and prepare them with the tools necessary to make marketing decisions in an uncertain technology environment.			
第3講: 「The Psychology of Gossip」 助教 パメラ・テイラー (Pamela TAYLOR) <u><6月7日(土)15:00~16:30></u> Gossip is often seen as bad, but everyone does it. This indicates that it serves some positive function. We will look at how gossip helps to create and maintain relationships and groups.			
その他	授業は全て英語で開講されます。		
テキスト	特になし。(講義により資料を配布する可能性あり。)		
参考文献			
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[30] 初めての染色体験 (型染でホントの「マイ・バッグ」を作ろう!)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 森 香織 (計1名)
授業概要	型染の技法でエコ・バッグを作ります。デザインのモチーフは「名前」。誰の名前にも家族や名付けた人達のいろいろな願いが込められています。そんな名前にちなんだ文様や文字を使って「マイ・バッグ」作りに挑戦します。		
授業方針	第1講では作品例を参考に型染の特徴を踏まえたデザインを考えます。第2～4講では実際に素材に触れながらものづくり体験をしていきます。		
会場・教室	秋田公立美術大学 染色実習室		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30～17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「デザインを決める」

＜6月8日(日)9:30～11:00＞

自分の名前をモチーフにデザインを決めます。

第2講：「型下図をつくる」

＜6月8日(日)11:10～12:40＞

決定したデザインを元に型染の下図を制作します。

第3講：「型紙を彫る」

＜6月8日(日)13:20～14:50＞

型下図を型紙に写し、デザインカッターで彫ります。

第4講：「彩色する」

＜6月8日(日)15:00～16:30＞

バッグに型紙を固定し、彩色します。

その他	<p>【事前学習】自分の名前にどのような由来や意味が込められているか、家族や親戚、まわりの人に取材してみましょう。それを元にデザイン案を考えてきてください。</p> <p>【持ち物】筆記具、スケッチブック(エスキース帳)、デザイン資料等 ※昼食を持参してください。</p>
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[31] 自然から芸術を学ぶ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 村山 修二郎 (計1名)
授業概要	学内の外を歩き自然に触れ、感覚と感性を呼び起こし、芸術的活動である描くことや造形を試みます。自然の持つ可能性を芸術の視点から発見し、紐解きながら学びます。		
授業方針	野外に出て活動をするため、天候次第で臨機応変に授業内容を変容していきます。服装も動きやすく汚れても良いもので。今までの美術の絵を学ぶ授業とは異なりますため、上手い下手ではなく楽しんで参加ください。		
会場・教室	秋田公立美術大学 講義室3、屋外		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「自然から芸術を学ぶ」

＜6月21日(土)13:20～14:50＞

- ①スライドで導入／室内
《自然の芸術》
- ②人と自然物と対話（構内・グラウンド・芝生界限）／野外
《触れる、かおり、音、色→気付き、発見》

第2講：「自然から芸術を学ぶ」

＜6月21日(土)15:00～16:30＞

- ③見るから描く／野外
- ④振り返り

その他	水筒（水分補給のため）、タオル、筆記用具、雨具 服装：動きやすく汚れてもよいものでお越してください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[32] アナログ漫画画材でオリジナルキャラクターを描こう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 講師 坂本 祥世 (計1名)
授業概要	実際に漫画家が使っているアナログ漫画の道具を使い、オリジナルキャラクター制作や、漫画の技術を学びます。		
授業方針	最近の漫画はデジタルで描かれることが多いですが、線画まではアナログで描く漫画家さんも大勢います。日本独特の漫画の道具を使用した技術は世界に誇れるものであり、皆さんに親しんでもらいたいと思っています。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「アナログ漫画画材の使い方」

＜6月28日(土)13:20～14:50＞

ペン、原稿用紙、スクリーン Tone 等の使い方を学び、それを使用してキャラを描きます。

第2講：「漫画的効果の実習」

＜6月28日(土)15:00～16:30＞

前講で作成したキャラに加えて、漫画的な表現を追加し、1枚絵の作品を仕上げます。

その他	必要な道具は準備しますが、日ごろ使用している道具(筆記用具等)を使いたい方は持参ください。カッター必須です。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[33] 生存の技術から創造行為へ (「音楽・言語・イメージ」の変容)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 助教 高橋 卓久真 (計1名)
授業概要	「なぜヒトはうたうのか」、「なぜヒトは表現するのか」を先史人類から我々新人までの進化過程を辿り、コミュニケーション方法の変遷を通して再考していきます。		
授業方針	人類先史における音楽、言語、イメージの役割とその変遷など事例紹介を紹介する。それらを踏まえ、受講者自身に「音楽・言語・イメージ」の考察を促すイメージ制作演習を実施する。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：36名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「生存の技術から創造行為へ(考察編)」

＜7月5日(土)13:20～14:50＞

プレゼンテーション資料に基づいて、多様なヒトの進化を通じたコミュニケーション方法の変遷を座学形式で学びます。

第2講：「生存の技術から創造行為へ(実践編)」

＜7月5日(土)15:00～16:30＞

第1講で得られた知見を通して、「音楽・言語・イメージ」の再考を促すコミュニケーションイメージ制作ワークショップを行います。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[34] グラフィックレコーディング演習 (話し合いが、リアルタイムに見える！わかる！グラレコを学ぼう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術教育センター 准教授 菅原 香織 (計2名)
授業概要	さまざまな話し合いの場で、文字や記号、イラストなどを用いて、リアルタイムに手描きで記録し可視化する「グラフィックレコーディング」の基本技術を習得します。		
授業方針	本授業は、第一線で活躍するプロフェッショナル（外部講師）と担当教員が連携して行います。また、秋田公立美術大学のグラフィックレコーディング演習の履修学生も実践の場として参加します。		
会場・教室	秋田市文化創造館 スタジオA		
会場住所	秋田県秋田市千秋明德町3-16		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課（平日8：30～17：15） 電話：018-888-8105 E-mail：kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「グラフィックレコーディングの基本」 講師 平元 美沙緒

＜7月12日(土)13:20～14:50＞

話し合いに見える化する技術とは グラフィックパターンの使い方 ペンの使い方 絵しりとりゲーム 自己紹介シート 模造紙にグラレコしてみよう

第2講：「模造紙にグラレコしてみよう」 講師 平元 美沙緒

＜7月12日(土)15:00～16:30＞

1人のスピーチを描く 2人の対話を描く ふりかえり共有

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[35] 建築デザインを学び、実際に見て歩こう (西洋の建築様式と秋田の近代建築を中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 石渡 雄士 (計1名)
授業概要	西洋の古典様式（ギリシャ・ローマ）やゴシック様式の建築デザインは、県内の近代建築にも多く取り入れられました。授業では各様式の特徴を理解し、実際に歴史的建造物を訪れて確認し、その空間の魅力を探ります。		
授業方針	第1講は座学形式で基礎知識を学びます。第2講は秋田市内にある近代建築を実際に巡り、知識だけでなく建築空間を実体験することで理解を深めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課（平日8：30～17：15） 電話：018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「建築様式のデザインを学ぶ」

＜7月19日（土）13:20～14:50＞

パワーポイントのスライドを使って、図面や写真を見ながら西洋の歴史的建造物のデザインと日本の近代建築とのつながりを座学形式で学びます。

第2講：「近代建築を実際に訪れて学ぶ」

＜7月19日（土）15:00～16:30＞

秋田市内に残る近代建築（旧秋田銀行本店本館など）を訪れ、実際に目で確かめながら建築デザインの理解を深めます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[36] 古来の技法で絵を描いてみよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 助教 大関 智子 (計1名)
授業概要	現在、私たちが慣れ親しんで使用している水彩絵具などの画材が誕生する以前、日本で描かれた絵画はどのように描かれていたのでしょうか？実際に古来の手法をなぞりながら、その材料と技法について理解します。		
授業方針	講義及び箔や膠、岩絵具などの日本画材料を用いた小作品制作を通して、古典技法についての理解を深めます。		
会場・教室	秋田公立美術大学 絵画実習室4		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「昔は何に描いていた？」 <u><8月4日(月)13:00~14:30></u> 古来用いられてきた支持体の種類と性質について理解し、和紙や箔を用いた支持体づくりに取り組みます。</p> <p>第2講：「描く材料と技法の仕組み」 <u><8月4日(月)14:40~16:10></u> 絵具の組成と定着する仕組みについて理解し、顔料や膠を用いて作品制作に取り組みます。</p>			
その他			
テキスト	なし		
参考文献	適宜紹介する。		
関連科目			

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[37] 地域資源デザインワークショップ (地域資源の気持ちになってデザインを考えよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術教育センター 准教授 菅原 香織 (計1名)
授業概要	地域資源を生かしたデザインを考えるワークショップ形式の授業です。身近な地域資源をケーススタディに、「地域資源クエスト」を用いたフィールドワーク、デザインワークを行います。		
授業方針	授業はチーム編成をして行います。積極的な態度を心がけてください。現地調査中は交通事故や体調不良・怪我に気をつけ、天候に応じた適切な服装で参加してください。		
会場・教室	美大サテライトセンター デッサンルーム		
会場住所	秋田市中通2丁目8番1号 フォンテAKITA 6階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：12名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「地域資源を生かしたデザイン 地域資源クエストとは（講義）」

＜8月11日(月)10:00～11:30＞

本日の進め方説明・「地域資源クエスト」の開発経緯と使い方

第2講：「地域資源フィールドワーク（現地調査）」

＜8月11日(月)12:10～13:40＞

【地域資源のみつめなおし（フィールドワーク）】

【地域資源のまなびなおし（ストーリー）】

第3講：「フィールドワークのまとめと共有 ディスカッションとワークショップ」

＜8月11日(月)13:50～15:20＞

【地域資源のおもいおこし（ディスカッション）】

【地域資源のみなおし（ワークショップ）】

第4講：「地域資源デザインワーク アイデア展開とふりかえり」

＜8月11日(月)15:30～17:00＞

【地域資源のつなぎなおし（アイデア）】

【地域資源のふりかえり（リフレクション）】

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	[38] 医療と福祉の探究	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 医療福祉学科 教授 石岡 和志 (計4名)
授業概要	高齢者や障害者が住みなれた地域で普通に暮らすために、医療と福祉の連携・充実の重要性が増しています。本授業では、現代社会が抱える課題を医療や福祉の視点から考え、その実践を学ぶとともに、医療や福祉の魅力について考え知る機会とします。		
授業方針	医療や相談援助の現場での実践的な課題を提示し、授業参加者とともにその解決について考えていきます。積極的な参加を期待します。		
会場・教室	秋田看護福祉大学 中教場		
会場住所	大館市清水2丁目3-4		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学・教務部教務課 (平日8:30~17:10) 電話: 0186-45-1717 E-mail: conso@well.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：40名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「地域福祉の実践 ～誰も見捨てない！引きこもり者の自立を支援する取り組み～」

教授 石岡 和志

<7月12日(土)12:00~13:30>

地域における引きこもり者や障害者等に対する支援について、社会福祉協議会の実践内容を紹介し、地域福祉の取り組みや今後のあり方を、様々な視点で一緒に考えていきましょう。

第2講：「○ではなく □ (資格) の講義」 助教 藤田 博章

<7月12日(土)13:45~15:15>

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・保育士・福祉住環境コーディネーター・社会福祉主事・児童福祉司の資格と高校で学ぶ教科との関連について考えていきます。なぜ、国語・数学・理科・社会・英語を勉強しなければならないか、大学で学ぶ学問との関連について事例を挙げながらわかりやすく解説します。

第3講：「介護福祉の専門職に求められる力 ～チームをつなぐコミュニケーション～」

助教 工藤 智美

<8月23日(土)12:00~13:30>

様々な生活課題を抱える高齢者や障害者等に対して個別性のある適切なケアや支援を行うにあたり、医療・保健分野の専門職等の多職種がチームを形成し、働きかけていくことが重要となります。介護福祉職に求められる連携力やコミュニケーションについて、演習を通して楽しく学びましょう。

第4講：「認知症高齢者への触れるケアとは」 准教授 今野 修

<8月23日(土)13:45~15:15>

認知症の人を身体的、心理的、社会的・文化的、スピリチュアル的なホリスティックな存在として理解し、それを踏まえた様々な介入の必要性を解説します。また、認知症高齢者へのタクティールケア（触れるケア）を一に行い、ホリスティック・ケアの在り方を学んでいきます。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	[39] ようこそ、看護学の世界へ (～看護学の奥深さにふれましょう～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 看護学科 教授 渡邊 知子 (計4名)
授業概要	人々の健康や生命を守る看護の本質に触れ、看護を必要とする人たちの健康と生活を支援する看護学の魅力を紹介します。授業を通して、参加する高校生の皆さんと看護学の意義を考えていきます。		
授業方針	大学で行っている講義や演習を経験することで、「看護学」への興味が高まる時間を届けられるよう努めます。		
会場・教室	秋田看護福祉大学 中教場		
会場住所	大館市清水2丁目3-4		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学・教務部教務課 (平日8:30～17:10) 電話: 0186-45-1717 E-mail: conso@well.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：40名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「セイフティマネジメント（医療安全）」 准教授 日沼 ゆかり

<7月12日(土)12:00～13:30>

「人は誰でも間違える！～あなたも 私も 誰でも～」

医療安全の視点で人の持っている特性を学び、日常生活の中の安全について意識を高めてみませんか

第2講：「青年期（思春期）の発達と理解」 講師 伊藤 洋介

<7月12日(土)13:45～15:15>

身体と心の発達の理解は、小児看護を学ぶ上で大切です。高校生は発達区分として一般的に思春期に分類されます。思春期の変化について今一度学び、健康・発達のために何が必要か一緒に考えてみましょう。

第3講：「『健康』ってなんだろう？ ～公衆衛生看護で出会う様々ないのち～」

講師 藤田 碧

<8月23日(土)12:00～13:30>

保健師は、感染症対策だけでなく、人々が健やかに生まれ育ち老いること、病気や困難があっても自分らしく活躍できることを目指し奮闘しています。公衆衛生看護の活動の一端をお伝えします。

第4講：「健康と家族 ～家族の一人が病気になったら他の家族はどうなるの？～」

教授 渡邊 知子

<8月23日(土)13:45～15:15>

家族の一人が病気になった時、家族全員の生活に影響が生じます。看護では疾病のある患者さんだけでなく、家族も看護の対象として考えます。家族も看護の対象とする意味を一緒に考えましょう。

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	日本赤十字東北看護大学
科目名 (サブタイトル)	[40] 高校生のための看護学入門 (赤十字の災害・国際看護)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 講師 新沼 剛 (計1名)
授業概要	災害や紛争などの人道危機における赤十字の看護師の活動について理解と関心を深めます。		
授業方針	講義は上記の担当者が行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字東北看護大学・南部直気 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-2229 E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: niinuma@rcakita.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：48名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「日本赤十字社による医療救護活動」

<7月10日(木)17:30~19:00>

日本赤十字社の国内災害救護を概観したうえで、医療救護活動における看護師の活動について理解を深めます。

第2講：「国際赤十字・赤新月運動（国際赤十字）による救援活動」

<7月17日(木)17:30~19:00>

国際赤十字・赤新月運動による救援活動を概観したうえで、災害および紛争下での看護師の活動について理解を深めます。

その他	各講、「対面とリアルタイム遠隔の併用型授業」が可能です。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田栄養短期大学
科目名 (サブタイトル)	[41] 食生活と健康 (我々の健康、疾病に関与する小さな生物たちとその活用法)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	栄養学科 准教授 大西 哲生 (計2名)
授業概要	人類は微生物を様々な形で活用してきました。微生物は我々の腸内にも住み着いており、我々の健康を支えています。それらの概略に加え、適切な腸内環境を維持するにはどのようにすればよいのか実践的に学びましょう。		
授業方針	講義と調理実習を組み合わせる形式をとります。講義時間は90分、大学の講義と実習の二つを体験してください。なお、実験（第2講）および調理実習（第3、4講）の都合上、受講は上限を18人とさせていただきます。		
会場・教室	第1講・第2講：秋田栄養短期大学 短大351教場 第3講・第4講：秋田栄養短期大学 調理実習室		
会場住所	秋田市下北手桜守沢46-1		
欠席連絡先	秋田栄養短期大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-1357 E-mail：kyomuj@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：18名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講：「役に立つミクロの生き物」 准教授 大西 哲生 ＜6月14日（土）9：00～10：30＞ 細菌、カビ類が我々の生活のどのような場面に、どのように役立っているかを楽しく学びます。			
第2講：「我々の消化管に共生する微生物のはたらきと健康、疾病」 准教授 大西 哲生 ＜6月14日（土）10：40～12：10＞ 我々の消化管にはおびただしい数、おびただしい種類の細菌がともに暮らしています。それらを腸内細菌といいますが、腸に細菌は私達の消化管で働いて我々の健康を支え、ときに疾病に関与することもあります。その概略を楽しく学びましょう。			
第3講：「腸内環境を整える食習慣（講義・実習）」 講師 田中 景子 ＜6月14日（土）13：00～14：30＞ 第2講と関連して、腸内環境をよくする食品や食べ方について学びましょう。			
第4講：「腸活メニューを作りましょう（実習）」 講師 田中 景子 ＜6月14日（土）14：40～16：10＞ 今までの講義から、発酵食品を使ったレシピをみんなで作りましょう。第7回ご当地タニタごはんコンテスト全国大会に出品した郷土料理アレンジレシピから「米粉ピザ」と、もう1品【計2品】を実習します。			
その他	調理実習の都合上、受講は上限を18人とさせていただきます。第3講、第4講の調理実習受講時には「エプロン、三角巾（バンダナでも可）」をご持参ください。お昼を挟みますので、各自お弁当をご持参ください。JR秋田駅東口からスクールバスを利用できます。ご利用の際には、運行時間をHP（ https://www.northasia.jp/bus/bus.html ）でご確認ください。また、バス停の場所については予めお問い合わせください。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物、家庭科、保健科		

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[42] ようこそ保育の道へ (地域の親子とのかかわりを通して感じる子どもの世界)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科生活こども専攻 教授 大曾 基宣 (計3名)
授業概要	保育士、幼稚園教諭を目指す生活こども専攻で開講している授業の中から「保育原理」「幼児理解」「乳児保育」「保育指導法」に関連する授業を行います。		
授業方針	講義と演習を組み合わせ、高校生に分かりやすく授業を行います。当日は、あそび場で地域の親子と一緒に遊ぶ時間を設けます。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 CB02教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 事務局(平日9:00~17:00) 電話:018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数:15名】先着順で募集を締め切ります

第1講:「ようこそ保育の道へ」 講師 藤田 洋子

<7月5日(土)9:30~11:00>

「育つ」ってどういうこと?保育ってどういうもの?「子どもの育ち」について考えるとともに、保育に関わる仕事についての学びを深めます。あそび場で地域の親子と一緒に遊ぶ時間を設けます。

第2講:「こどもの遊び」 講師 石井 美和子

<7月5日(土)11:10~12:40>

こどもにとって「遊び」にはどんな意味があるのか。おもちゃを作って遊びを体験します。あそび場で地域の親子と一緒に遊ぶ時間を設けます。

その他	上履き、筆記用具を各自ご持参ください。子どもたちと関わる時間がありますので、制服よりも動きやすい服装がおすすめです。スカートよりもズボンが理想的です。(子どもと関わるのが不安な方はその場の雰囲気を感じるだけでも問題ありませんので、ご安心ください。)
テキスト	
参考文献	
関連科目	保育原理、幼児理解、乳児保育、保育指導法

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[43] 食品と栄養の基礎知識	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科健康栄養専攻 教授 熊谷 昌則 (計4名)
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、給食管理、栄養教育といった分野について、基礎的で簡単な実験や実習も取り入れながら解説。各講義で栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明する。		
授業方針	授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する知識を伝え、自分の食生活や栄養士の仕事に興味を持ってもらうことである。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 P201教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学 事務局(平日9:00~17:00) 電話:018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「嚥下調整食について学ぼう」 講師 須磨 亜沙子

<6月21日(土)13:20~14:50>

ペースト食、ソフト食など、摂食嚥下機能に合わせた食種は様々あります。また、一口大カットやとろみつきなど、食形態にも工夫が必要です。医療機関や福祉施設で提供されている嚥下調整食について学びましょう。

第2講：「野菜の成分と栄養について」 教授 熊谷 昌則

<6月28日(土)13:20~14:50>

身近な食材の中から「野菜」をとりあげ、その成分や栄養について学習します。

第3講：「水って大切」 准教授 浅野 純平

<7月5日(土)13:20~14:50>

私たちが生きていく上で欠かせない水の特徴や性質を学びます。また、五感を使って、いろいろな水の違いを調べてみましょう。

第4講：「給食を提供するということ」 講師 伊藤 雅子

<7月12日(土)13:20~14:50>

給食を提供する対象者によって栄養士の仕事は多岐にわたっています。安全でおいしい食事を提供する方法について学びましょう。(集団調理の機器見学含む)

その他	上履き、筆記用具をご持参ください。
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部
科目名 (サブタイトル)	[44] 快適な住環境整備と生活支援	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 講師 松橋 朋子 (計1名)
授業概要	私たちにとって住居は生活の基盤であり、どのような状態であっても快適に安心して生活できることが求められます。この授業では、住環境の問題点を踏まえ、介護を必要とする人の生活支援の実際について学びます。		
授業方針	前半に講義を行い、後半に生活支援技術の基本について演習を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-3000 E-mail: fujisawa@rctohoku.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：36名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「介護を必要とする人の住環境整備の視点」

＜8月2日(土)13:20～14:50＞

住環境の問題点を踏まえ、介護を必要とする人の住環境整備に必要なポイントについて学びます。

第2講：「生活支援技術の基本（移動の介助）」

＜8月2日(土)15:00～16:30＞

介護を必要とする人の自立に向けた「移動の介助」における留意点と介助のポイントについて学びます。

その他	演習では体を動かしますので、動きやすい服装（制服でも可）で参加してください。
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布します。
参考文献	授業の中で紹介します。
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖園学園短期大学
科目名 (サブタイトル)	[45] 楽しく学べる保育科入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	保育科 准教授 猿田 興子 (計3名)
授業概要	聖園学園短期大学保育科で開講している保育関連科目を複数の教員がオムニバス方式で紹介し、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育科短大での学習活動に対する理解を深めます。		
授業方針	講義科目や演習科目を組み合わせながら、簡単な理論と実際の動きを融合させた授業の展開を図ります。子どもや保育・幼児教育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要としません。		
会場・教室	第1講：カレッジプラザ 小講義室 2 第2講：カレッジプラザ 講堂 第3講：カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	聖園学園短期大学事務局教務課 (平日9:00~17:00) 電話：018-862-0337 E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講：「「子どもの世界」～遊びと学び～」 准教授 加藤 順子

＜6月4日(水)17:30～19:00＞

子どもが遊びを通してどのようなことを経験し、学んでいるのかを考えます。子どもにとって遊びや学びはどのような意味をもつのか一緒に考えてみましょう。

第2講：「「歌うこと」が育んでくれること」 講師 櫻庭 優佳

＜6月12日(木)17:30～19:00＞

幼い頃に口ずさんだ懐かしい子どもの歌と一緒に楽しく歌いながら、子どもの成長に「歌や音楽」がなぜ必要なのかについて、共に考えてみましょう。受講後、きっと歌うことが好きになるはずです！

第3講：「育のおもしろさ～成長につながる遊びと生活～」 准教授 猿田 興子

＜6月19日(木)17:30～19:00＞

保育とは、乳幼児の主體的な営みを大切にして、それらが望ましい方向に向かって展開していくための必要な援助と言えます。遊びを通して子どもは何を学んで成長するのでしょうか。実技や実践例から子どもの世界にふれてみましょう。

その他	筆記用具
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[46] 3Dモデルを組立てよう！	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生産機械技術科 講師 橋本 真寿 (計1名)
授業概要	パソコン上で作成したモデルを組み合わせ、装置を作ってみましょう。組み合わせ方により、難易度が変わります。		
授業方針	ソリッドワークスのアセンブリ（組立て）機能を使い、3Dモデルの組み立て方を学んでみましょう		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 209教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1（秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分）		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校（平日9：00～17：00） 電話：0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「3D-CADのアセンブリ機能について」

<8月9日(土)9:30～11:00>

アセンブリ機能の使い方・考え方

第2講：「アセンブリ実習」

<8月9日(土)11:10～12:40>

モデルを組み合わせて、形状作成

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[47] ライントレースカー制御プログラム制作	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 能開教授 櫻木 伸英 (計1名)
授業概要	ライントレースカーを使い制御方法の違いを比較し、検討します。		
授業方針	簡単なON/OFF制御から実用的なPID制御までを体験します。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 408教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「ライントレースカーの仕組み」

<7月12日(土)9:30~11:00>

ハードウェアの理解、プログラム作成方法の習得

第2講：「ライントレースカーの制御」

<7月12日(土)11:10~12:40>

制御方法の理解、プログラムの設計・製作

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	

令和7年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[48] 住宅のバリアフリー改修プランニング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 能開准教授 中田 智大 (計1名)
授業概要	福祉住環境の基本を学び、その知識を活かしモデル (H.Aさん、脳梗塞による片麻痺) から住宅改修を依頼された想定で、バリアフリー改修のプランニングを行います。		
授業方針	初学者でも扱いやすい「3Dマイホームデザイナー」を使用し、モデリングをしながら、改修のプランニングを行います。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 221教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「バリアフリー改修の方針決定」

<6月21日(土)9:30~11:00>

住まい整備の基本技術、脳梗塞について、要望の聞き取り

第2講：「バリアフリー改修プランニング」

<6月21日(土)11:10~12:40>

間取り変更、建具・家具の変更、動線確認

第3講：「プランニングとモデリング①」

<6月21日(土)13:20~14:50>

3Dマイホームデザイナーでモデリング、プランの調整

第4講：「プランニングとモデリング②」

<6月21日(土)15:00~16:30>

3Dマイホームデザイナーでモデリング、プランの調整、検証、まとめ

その他	
テキスト	
参考文献	
関連科目	